株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	公告方法	電子公告 当社ホームページに掲載いたします。ただし事故その他やむを得ない事由によって、電子公告により行うことができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。
定時株主総会	毎年6月開催		
基準日	定時株主総会　3月31日 剰余金の配当　3月31日、9月30日		
単元株式数	100株		
上場証券取引所	東京証券取引所　市場第一部		
証券コード	4283		

■ 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主さまは、以下の電話照会先にご連絡ください。

（株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関）	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社	（郵便物送付先）	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社　証券代行部
（株主名簿管理人事務取扱場所）	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部	（電話照会先）	0120-176-417
		（インターネットホームページ）	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html

■ 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主さまには、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。

ホームページのご案内

当社の企業活動、商品などに関する詳しい情報につきましては、「パナソニック電工インフォメーションシステムズホームページ」でご覧になれます。こちらもどうぞご利用ください。

http://panasonic-denkois.co.jp/

パナソニック電工インフォメーションシステムズ株式会社

この冊子に関するお問い合わせ先
電話 06-6906-2801（代表）

※本誌に記載された社名および製品名などは、それぞれ各社の商標または登録商標です。

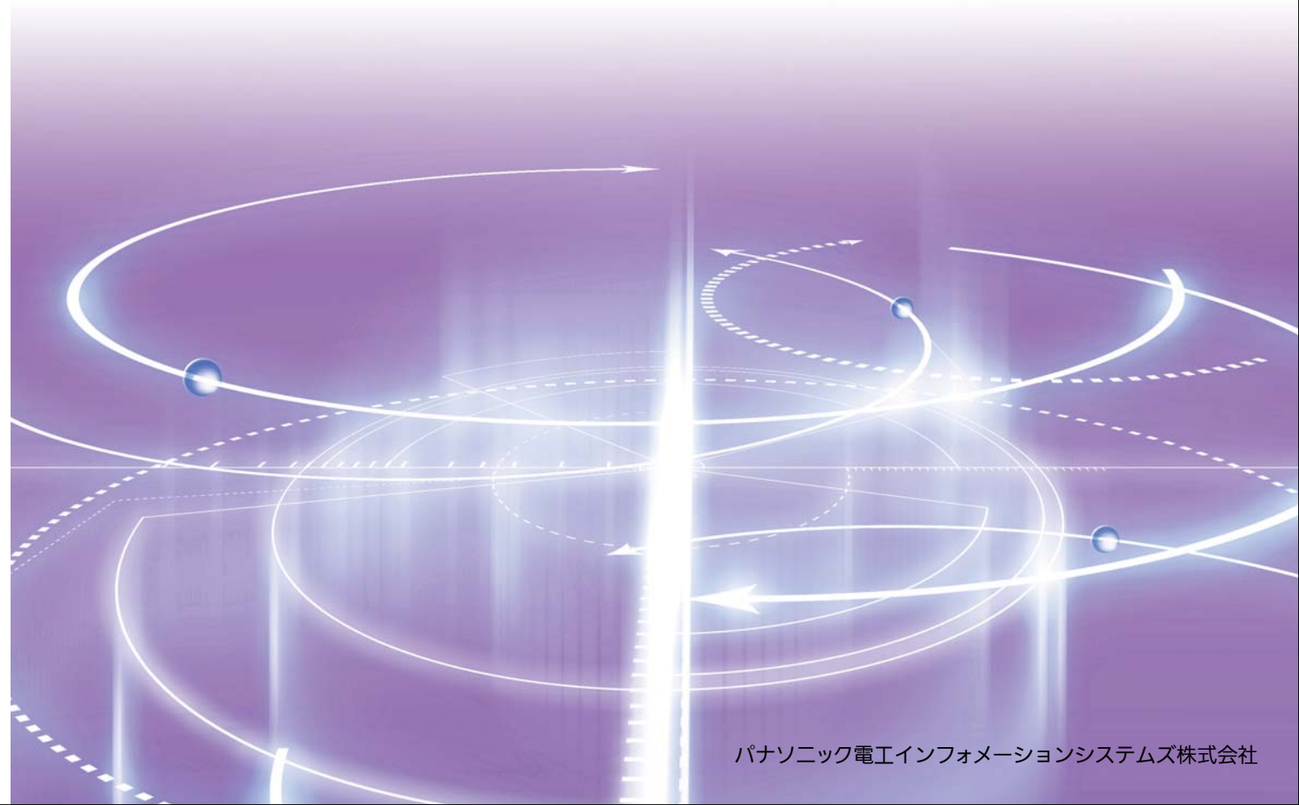
Panasonic
ideas for life

第13期　第3四半期

株主通信

平成22年4月1日～平成22年12月31日

証券コード:4283



パナソニック電工インフォメーションシステムズ株式会社

CONTENTS

2 株主のみなさまへ
3 特集　Nextructure（ネクストラクチャ）
　　～ITインフラを“Next”へ～
5 トピックス
6 IT用語の解説／よくあるご質問について

ビジネスハイライト（平成22年4月～平成22年12月）

平成22年　4～12月

5月10日　パナソニック電工ネットソリューションズ
Web勤務管理システム「MajorFlow Time」発売

6月16日　第12回定時株主総会

6月21日　首都圏拠点を東京都中央区から東京都港区へ移転し、
「東京オフィス」に改称

10月 5日　大和総研グループ、新日鉄ソリューションズと
「クラウド技術推進グループ」を発足

10月22日　平成23年3月期第2四半期決算説明会（東京）

11月15日　次世代情報システム基盤ソリューション
「Nextructure」提供開始

12月 1日　データセンター向け環境監視ソフトウェア「eneview」発売

12月 2日　イージェネラ株式会社と「PAN Manager®Software for 富士通」
の日本国内における販売について総代理店契約を締結

当第3四半期連結累計期間　業績ハイライト

売上高	244億56百万円（前年同期比 8.3%減）
営業利益	27億55百万円（前年同期比 13.2%減）
経常利益	28億09百万円（前年同期比 12.5%減）
四半期純利益	16億12百万円（前年同期比 14.5%減）
1株当たり四半期純利益	151円29銭（前年同期比 25円65銭減）

ポイント

- 厳しい経済環境を背景に、売上・利益とも前年実績を下回る結果に。
- 営業・開発体制の整備など中期経営計画達成に向けた基盤固めは順調。
- クラウド関連ソリューションの発売も相次いで開始。当社の経験とノウハウをもとに、次世代ITインフラの導入提案をさらに推し進める。

株主のみなさまへ

当第3四半期連結累計期間を振り返って

当第３四半期連結累計期間（平成２２年４月１日～平成２２年１２月３１日）におけるわが国経済は、緩やかな回復基調ながら、長引く円高の影響、国内景気対策効果の一巡などにより、不透明な状況で推移いたしました。情報サービス産業では、クラウドコンピューティングやスマートフォンの普及にともなう新たなニーズが生まれましたが、国内IT投資は抑制されたままで、厳しい状況が続きました。これらの結果、当社グループの業績は当第3四半期連結累計期間も減収減益となりました。

一方で１０月以降、当社グループは、クラウドコンピューティングの活用を念頭に置くお客さまの「最良・最適」を実現する商品・サービス・ソリューションの提供を相次いで開始いたしました。昨年までは、その革新性からクラウドといえばどんなソリューションでも注目された部分がありましたが、これからは、真のIT構造改革を担うに値するかどうかが焦点となります。サービスの質が問われる時代の到来に、身の引き締まる思いです。

１１月から提供を開始した次世代情報インフラ基盤ソリューション「Nextructure」は、クラウドによって目の前に開かれたITの新しい時代をお客さまとともに歩むべくスタートしたものです。次ページからの特集記事もぜひご覧ください。

クラウドのみならず、今後は、IT革新に向けた動きが一挙に進むでしょう。

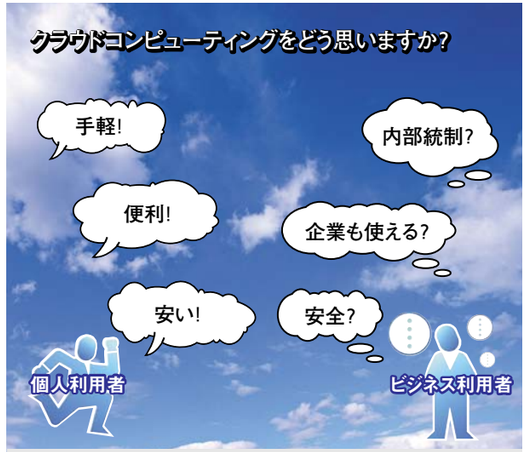
新しい時代への一歩は胸躍るものです。役員・社員一同、既存の概念を打ち破りながら、お客さまとともにパワフルに、情熱的に「進む」ことを目標にしております。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き、ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長
前川一博

ITインフラを“Next”へ！

次世代情報システム基盤ソリューション「Nextructure（ネクストラクチャ）」スタート！



「ハードウェア（資産）を持たず、サービスとして利用できる」――企業が大きく期待を寄せるクラウド。しかし現在、クラウドが適用されているのは企業システムのごく一部。セキュリティや内部統制、データの保全・・・クラウド適用までには、乗り越えなければならないさまざまな壁があります。目先の安さや流行に飛びつくとITインフラに取り返しのつかない問題を抱えてしまうことになりかねません。では一体何がITインフラの「最良・最適」なのか？それぞれの企業が自らの経験とそれに基づく予測だけで選択しようとすると、これまで以上に難しい判断を迫られることになってしまいます。

ビジネスユースに最適なクラウドコンピューティングのあり方をご提案

今後のITインフラ構造改革に、クラウド適用は不可欠な要素です。しかし、乗り物にたとえるならば、バスだけで海外旅行に行けないように、クラウドだけでITインフラ構造改革を実現するのは大変難しいといえます。
成功のポイントは、飛行機や電車やバスを乗り継ぎ目的地へ向かうように、手段を使い分けること。
その歩みをサポートするためにスタートしたのが「Nextructure」なのです。

次世代情報システム基盤ソリューション

Nextructure

Nextructureの特長はこの3つ。

実践経験で裏付けされたプロセス × 現場で鍛えあげた先進技術 × ユーザ視点で厳選したソリューション

自らの持つリアルな経験をもとに、「サービス」「運用」「構築」を軸とした提案を行います。
その中核的な役割を担うのは「PAN Manager® Software for 富士通」をはじめとするPANソリューションです。

Nextructureの中核テクノロジ ～PANがつくるITインフラの“Next”～

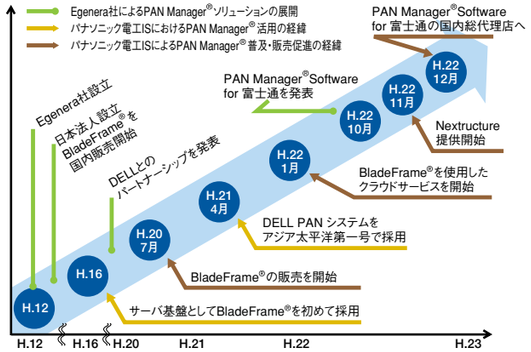
■ PAN Manager®ソリューションの成長とパナソニック電工ISの取り組み

ブレードサーバの高可用性※と運用の大幅な負担軽減。従来なら相反する要求だったこの2つを両立し実現したのが、米・イージェネラ社が打ち出した「PAN（Processing Area Network）」という考え方です。当社は、平成16年にユーザーとしてPAN Manager®の活用を開始。以降、国内最大級のユーザーとして、PAN Manager®を有効に活用してきました。
そのユーザー経験を活かし、平成20年からは販売パートナーとして、Egenera® BladeFrame®の普及・拡販を展開。
平成22年12月からは日本国内における総代理店として「PAN Manager®Software for 富士通」の販売を開始しました。

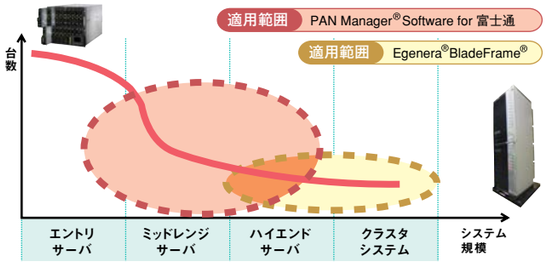
■ ますます広がるPANの活躍シーン

Egenera® BladeFrame®は、ミッションクリティカルなシステムにも対応する非常に高性能なサーバ。
一方「PAN Manager®Software for 富士通」は、富士通の汎用ブレードサーバ上で稼動するため、ハイエンド向けのEgenera® Blade Frame®に対し、ミッドレンジのシステム向けサーバとして、コスト面を含めて優れたパフォーマンスを発揮することが期待されます。当社は、「PAN Manager® Software for 富士通」の普及により、日本国内におけるPAN Manager®の活躍シーンをさらに広げ、ITインフラの革新をめざすお客さまに“Next”をお届けします。

［PANソリューションの発展と当社の取り組み］



［PANソリューションの適用範囲］



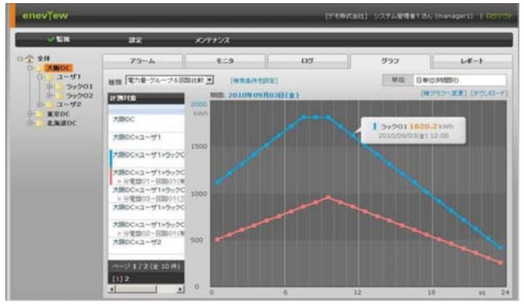
※高可用性:障害による停止の発生頻度が少ないこと。 ※PANにつきましては、6ページの「用語解説」も合わせてご覧ください。

1 データセンター向け環境監視ソフトウェア「eneview（エネビュー）」を発売

当社は12月1日、電力使用量・温度などのモニタリングに用いるデータセンター向け環境監視ソフトウェア「eneview（エネビュー）」の提供を開始いたしました。昨今企業のデータセンターにおいて、信頼性、コスト削減に加え、環境への配慮が求められています。本製品はパナソニック電工株式会社製の計測機器を用いて、収集した電力使用量や温度などの情報を一元管理します。またデータの収集や分析機能に加え、異常値のアラーム通知機能やWeb公開機能などを搭載しており、エネルギーの効率的な使用を可能にします。本製品を用いた環境監視下では、これらの機能を活用することにより、正確な環境情報の「見える化」を実現いたします。

eneview

［「eneview（エネビュー）」の画面イメージ（電力量比較）］



2 クラウド型データ連携サービス「BizFit Connects」サービス提供開始！

当社はこのほど、クラウド型データ連携サービス「BizFit Connects（ビズフィットコネクツ）」の提供を開始いたしました。本サービスは、従来からご提案してきたデータ連携ソリューションをクラウドサービス化したものです。クラウドでの提供により、お客さまの課題解決手段の選択肢を広げてまいります。

BizFit ビズフィット

3 バックアップの"Next"は「重複除外技術」「Nextructure」バックアップ統合メニューをさらに充実！

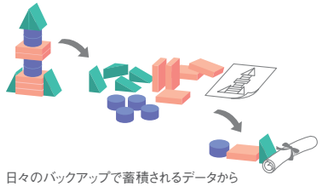
当社は11月15日、次世代情報システム基盤ソリューション「Nextructure」のバックアップ統合メニューに、「EMC Avamar（イーエムシーアバマー）」を追加し、重複除外技術を持つ製品のラインアップを拡充しました。当社は、BCP（事業継続計画）に取り組むお客さまの多様なニーズにお応えしてまいります。

Nextructure

重複除外技術（De-duplication）

データ内の重複部分を除外して一つにまとめる技術。バックアップデータ容量を大幅に（例えば約20分の1に）削減できるので、装置コストや管理コストや電力コストなど様々なコストを大きく削減することができます。

［重複除外技術イメージ］



日々のバックアップで蓄積されるデータから同じ構造のものを除外し設計図と共に保存する。

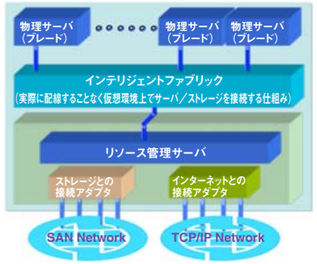
バックアップ

データを複製（コピー）して別の場所に保存しておくこと、あるいはその複製データのこと。万が一、自然災害やウィルス感染などによってデータが消失しても、データを復旧できるように備えることができます。

PAN（Processing Area Network）

米イージェネラ社が提唱する、企業の情報システムにおける主要なコンピューティングリソース（プロセッサーやストレージなど）をリソース管理サーバで一元管理し、仮想環境上で柔軟に再構築することができる仕組み。リソースを必要なときに必要なだけ利用することができます。

［PANシステムの構成］



リソース管理サーバでハードウェアを一元管理し、仮想環境上で柔軟に再構築できる。

Q 株式を相続したのですが、どのような手続きをすればよいですか。

A ご相続による名義書換手続きが必要ですので、株式口座を設けられている証券会社等にお問い合わせください。
なお、特別口座の株主さまは住友信託銀行（電話:0120-176-417）へお問い合わせください。

Q 結婚して姓が変わったのですが、どのような手続きをすればよいですか。

A お名前の変更届が必要です。
株式口座を設けられている証券会社等にお問い合わせください。
なお、特別口座の株主さまは住友信託銀行（電話:0120-176-417）へお問い合わせください。

Q いつ時点の株主が配当金を受け取ることができるのですか。

A 期末配当金は3月31日の株主名簿に、また中間配当金は9月30日の株主名簿に、それぞれ記載されている株主さまにお支払いいたします。